

－ 丹沢ブナ党シンポジウム －

- 今、ブナ林を取り戻すためにできること -
☆暮らしと生き方を見直そう☆

3月11日の大震災、それに引き続いた福島第一原発の制御不能状態は、私たちにはもう未来が無いのではないかと、という絶望的な思いをもたらします。広範囲に及んだ放射能は、お茶や牛肉に止まらず、将来の健康への影響が極めて憂慮され、この先どれほどの影響が出てくるのか、想像するだに恐ろしくなります。

こうした事態を招いた原因はどこにあるのでしょうか。東電や経産省保安院等の非や無策ぶりを言い立てることは簡単ですが、こうした社会をもたらした底には、限りなく便利さや快適さを求め続けた私たち自身の暮らし方にも、問われるべき一因があったのではないのでしょうか。

50年前の暮らしに戻るわけにはいきませんが、今の暮らしと生き方を見直し、耐えられる不便、しのげる不快さを受け入れて、極端に進んだ電気依存、車依存社会を変えていくことが、原発依存からの脱却、延いては丹沢のブナの立ち枯れを防ぐことになるのではないのでしょうか。丹沢の豊かなブナ林を取り戻すために、迂遠な道のりかもしれませんが、今、わたしたちにできることについて、みんなで考えたいと思います。



日 時 2011年11月20日(日) 13:00~16:30
場 所 横浜市従会館 横浜市西区宮崎町25 TEL045-241-5866
記念講演 河野 昭一「ブナ、その豊穡の森と危機的状況」(京都大学名誉教授)
パネル討論 河野 昭一(京都大学名誉教授)
山田 純(国民森林会議事務局長)
片桐 務((有)夢工房代表取締役・丹沢ドン会)
泉 龍(影絵夢幻語り(初代ブナ党代表))
司 会 梶谷 敏夫(丹沢ブナ党代表)
資 料 代 1,000円
主 催 丹沢ブナ党 横浜市港北区箕輪町3-3-8 TEL&Fax045-563-3953

e-mail bunato-kazitani@mub.biglobe.ne.jp